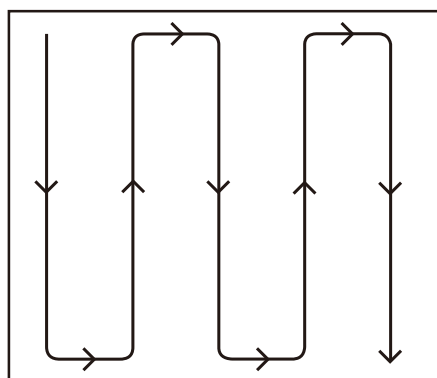


ソーラーパネル 純水洗浄システム 施工要領書

1. 水道ホースを蛇口と純水装置Hydro Clean PROのIN側にセットしてください。
※蛇口用ジョイントの予備、ホースバンドや番線の予備をご用意いただくと現場で対応しやすいです。
2. Hydro Clean PROとソーラーパネルの距離によっては、Hydro Clean PROのOUT側にも水道ホース(ジョイント付)をセットしてください。
3. ホース・Hydro Clean PRO・伸縮洗浄ブラシをセット後、水を流してください。
※Hydro Clean PROのレバーは必ず「フィルターモード」になっていることを確認してください。
4. ブラシ先端から出た水をコップ等の容器に取り、付属のTDSメーター(イオン濃度測定器)を使い、数値が「0ppm」になっていることを確認してください。
別売のインラインTDSメーターを使用すると連続監視が可能になり便利です。数値が高い場合はイオン交換樹脂を交換してください。
※お住まい地域の水道水の水質により、新品のイオン交換樹脂でも数値が上がる場合がございます。予めご了承ください。
5. 伸縮洗浄ブラシ先端から水が出ている状態でソーラーパネルをブラッシングしてください。
特に汚れが多い場所は別売の「太陽光発電パネル用クリーナー」を汚れに吹き付けてください。
6. クリーナーを吹き付ける場合は必ず先に水を掛けてください。水を掛けておくことで、汚れにクリーナーが浸透しやすくなります。また、水を掛けずにクリーナーを吹き付けるとクリーナーが乾きやすくなってしまいシミの原因になります。特に日差しが強く、気温が高い場合はご注意ください。
7. 汚れに水を掛けてからクリーナーを吹き付け、約2分～5分置き(日当たり・温度等により誤差あり)、洗浄ブラシでブラッシングしてください。特に汚れがひどい場所や汚れが溜まりやすい隅および縁は洗車ブラシや竹ブラシ等を使い汚れを落としてください。
8. 落とした汚れとクリーナーの残留は残らないようにブラシ先端から出る水を使いながら流してください。
9. ソーラーパネルは傾斜になっているため、パネル下部に水が溜まりやすくなります。溜まった水はゴムベラ等を使い掃いてください。
10. ソーラーパネル乾燥後、別売の「NEWコテバケPRO ハンドル 7」「コテバケPRO用パット 中毛 7」「ローラー継柄」を使い、パット中毛にIPAを染み込ませてソーラーパネルを脱脂してください。※IPAは塗料販売店様へお求めください。
洗浄ブラシで落とし切れなかった汚れがパットに付く場合がございます。予備のパットをご用意いただくことをおすすめします。汚れや油分が残っているとコーティング剤の密着が悪くなりますので入念に脱脂を行ってください。

11. コーティング作業

別売の「NEWコテバケPRO ハンドル 7"」「コテバケPRO用パット短毛 7"」「ローラー継柄」を使い、パット短毛にエクセルピュアを染み込ませてください。エクセルピュアの使用量は、1㎡＝15mlになります。塗布量が多すぎると効果が薄れてしまいますのでご注意ください。塗布面が薄い虹色になります。虹色になっていれば塗布されておりますので、塗り残しムラがないかご確認ください。※エクセルピュアを小分けボトルに入れておくと適正量を出しやすいです。



パットを1/3重ねて塗布することで
塗り残しムラを防止できます。

◀エクセルピュア塗布方法

12. 乾燥時間

常温での乾燥になります。完全硬化には約1時間かかります。(気温が高い場合は乾燥時間が早くなります)完全硬化前に水分が接触するとシミが発生する恐れがありますので、乾燥中は水分が掛からないようにご注意ください。

13. 硬化後

施工面に水を吹き付け、親水性が現れていることをご確認ください。水が水滴にならず薄く広がれば、エクセルピュアの被膜が形成されています。

14. 硬化後の注意

施工面を固い生地クロスや固いブラシで強く擦ると被膜が傷付き、性能劣化の原因となります。施工面を清掃する場合は柔らかいクロスやコテバケパット中毛 7"を使い水拭きしてください。※水は良く絞ってください。清掃を行う場合は洗剤はご使用にならず、水をご使用ください。

15. 保管の注意

- 1) ブラシが地面や壁に当たると毛が変形しますので、当たらないように保管してください。
- 2) Hydro Clean PROを長期間使用しない場合は、イオン交換樹脂を取り出し保管してください。
- 3) エクセルピュアは火気・火花を避け、直射日光が当たらない室温以下で保管してください。未開封状態での使用期限は製造後1年です。開封後はお早めにご使用ください。